【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【公開番号】特開2001-111911(P2001-111911A)
【公開日】平成13年4月20日(2001.4.20)
【出願番号】特願平11-289885
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/445　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/025　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/03　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/035　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/445　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　7/08　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月27日(2006.3.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　過去に指定した検索項目のデータを１つ又は複数記憶し、受信した番組案内データから上記記憶した項目に対して検索を行い、その検索で一致した番組案内データが存在するとき、記憶した番組案内データを更新させる、
番組案内データ処理方法。
【請求項２】　請求項１記載の番組案内データ処理方法において、
上記番組案内データの受信を定期的に随時行うようにした、
番組案内データ処理方法。
【請求項３】　請求項１記載の番組案内データ処理方法において、
上記所定の項目は、所定の操作で指定された検索キー又はジャンルである、
番組案内データ処理方法。
【請求項４】　請求項１記載の番組案内データ処理方法において、
上記更新が行われて記憶された番組案内データで示される番組の中から、上記検索で指定した項目との一致度が最も高い番組を表示させる制御を行うようにした、
番組案内データ処理方法。
【請求項５】　受信した番組案内データから、過去に指定された１つ又は複数の項目に対する検索を行う検索手段と、
上記検索手段で検索された番組案内データを、記憶データとして更新させる記憶手段と、
上記記憶手段に記憶された番組案内データに基づいて番組案内画面表示用の画像データを生成させる表示処理手段とを備えた、
番組案内データ処理装置。
【請求項６】　請求項５記載の番組案内データ処理装置において、
上記番組案内データの受信を定期的に随時行い、上記記憶手段の記憶データの更新を随時行う、
番組案内データ処理装置。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
【課題を解決するための手段】
本発明の番組案内データ処理方法は、受信した番組案内データから、過去に指定した１つ又は複数の所定の項目に対して検索を行い、その検索で一致した番組案内データが存在するとき、記憶した番組案内データを更新させるようにしたものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明の番組案内データ処理装置は、受信した番組案内データから過去に指定された１つ又は複数の項目に対する検索を行う検索手段と、検索手段で検索された番組案内データを記憶データとして更新させる記憶手段と、記憶手段に記憶された番組案内データに基づいて番組案内画面表示用の画像データを生成させる表示処理手段とを備えたものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
【発明の効果】
本発明の番組案内データ処理方法によると、過去に指定した１つ又は複数の検索項目に基づいて検索された番組案内データだけが記憶データとして更新され、指定された項目以外の番組案内データについては記憶されず、効率良く必要な番組案内データだけを記憶させることができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
また本発明の番組案内データ処理方法によると、番組案内データの抽出を定期的に随時行うようにしたことで、放送データの受信が本来必要でない間にも受信して、番組案内データの更新が行われ、例えばテレビジョン放送の視聴などが行われてない間にも、必要な項目の番組案内データの蓄積が行われて、迅速に検索された番組案内データによる番組表などを表示させることが可能になる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
また本発明の番組案内データ処理方法によると、所定の項目は、所定の操作で指定された検索キー又はジャンルであることで、過去に指定された検索キーに基づいた検索や、過去に指定されたジャンルに基づいた検索で得た番組案内データが記憶されるようになる。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
また本発明の番組案内データ処理方法によると、更新が行われて記憶された番組案内データで示される番組の中から、検索で指定した項目との一致度が最も高い番組を表示させる制御を行うようにしたことで、選局操作をすることなく、検索された番組を直接表示させる処理が可能になる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
また本発明の番組案内データ処理装置によると、過去に指定した１つ又は複数の検索項目に基づいて検索された番組案内データだけが記憶手段に記憶され、過去の操作に基づいて効率良く必要な番組案内データだけが記憶手段に保持される装置が得られる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
また本発明の番組案内データ処理装置によると、記憶手段の記憶データの更新を随時行うことで、放送データの受信が本来必要でない間にも受信して、番組案内データの更新が行われ、例えばテレビジョン放送の視聴などが行われてない間にも、必要な項目の番組案内データの蓄積が行われて、迅速に検索された番組案内データによる番組表などを表示させることが可能な装置が得られる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
また本発明の番組案内データ処理装置によると、検索手段が検索する所定の項目は、操作手段の操作で指定された検索キー又はジャンルであることで、過去に指定された検索キーに基づいた検索や、過去に指定されたジャンルに基づいた検索で得た番組案内データが記憶される装置が得られる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４７】
また本発明の番組案内データ処理装置によると、検索手段での検索で、設定された項目との一致度が最も高い番組が放送されるチャンネルを受信手段で受信することで、選局操作をすることなく、検索された番組が直接表示される装置が得られる。